



EMERGENCY RESOLUTION ON TUNISIA

チュニジアに関する緊急決議

第29回国際公務労連（PSI）世界大会
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン
以下の緊急決議を採択

チュニジアのいくつかの町で、特にシリアナ県で始まったゼネスト以降に起こった連続的な悲しい出来事と、250人以上を負傷させ、数名が現在危篤状態にあるような事態を引き起こした警察の武力弾圧があったことを受けて、

そして、同地域の活動家に対する支持と、この政策に対する憤りという文脈の中で、第29回PSI世界大会の折にダーバンに参集した大会参加者は、

社会正義、不均衡な地域開発の是正、雇用及び労働条件の改善を求めるチュニジア一般労組(UGTT)の闘いに対する支持を**表明する**

社会・政治改革を要求して抗議行動をとった人々に対して加えられた警察の弾圧を**強く非難する**。この振る舞いは、チュニジア市民によって追放された独裁者を思い起こさせるものである。

チュニジア政府に対し、表現と集会の自由の権利を行使したことで拘留された人々を釈放すること、そして対話に基づく社会政治改革とチュニジア社会の全構成員の民生・政治参加の拡大を通じた積極的な民主主義への移行のために努力することを**強く求める**。

このような状況において、国際公務労連は、

社会的・政治的緊張を軽減し、危機を克服するための好ましい風潮を創ることを目指してUGTTが取り組む全国対話のイニシアティブを**支持する**。

政治的舞臺における一部集団の覇権の脅威に対して、民主主義への移行を達成・強化し、逆戻りを防ぐために闘うチュニジア加盟労組の闘いに対する支持を表明するものとして、2013年3月にチュニジアで計画されているグローバル社会フォーラムに、労働組合員が多数、効果的に参加するよう**訴える**。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議[Congress resolutions](#) を参照のこと